

## 平成24年度事業報告

### I. はじめに

我が国発の革新的技術である「ファインバブル」に関しては、産業発展の前提となる規格の創成、認証システム等のインフラを早急に実施しなければ、関連産業の発展に支障が生ずる恐れがあると考えられる。

このため、ファインバブル技術の国際標準化、認証、利用技術開発、共通基盤技術開発及び各種情報の収集などの事業を推進するため、平成24年7月23日に産学官連携の下、一般社団法人微細気泡産業会（FBIA）を設立し、日本発の国際標準化の推進やグローバル展開を見据えた認証事業等の各種事業活動を開始した。

平成24年度は、標準化、認証事業等の各種委員会を設置し、以下の事業を実施した。

### II. 事業報告

#### 1. 国際標準化推進事業（標準化委員会）

ファインバブルの気泡径・数密度・存在時間など各種物理的な性質について、定量的または定性的に計測可能な技術を確立し、ファインバブルの存在を再現性よく適切に評価・認証できる計測方法を提案及び選定した上で、ISOにおいてファインバブル技術に関する国際標準化を推進するための活動を開始した。

特に、かつて「ナノ・マイクロバブル」の呼称は『ファインバブル（微細気泡）』に統一した上で、ISOに新しいTCの設置を提案し、3階層規格体系を創成することとした。

3階層規格体系の内容としては、上位規格としてファインバブルの定義、中位規格としてファインバブルの様々な計測方法、そして、下位規格としてファインバブルの様々な機能・応用に関する詳細を規定するものとし、体系的に国際標準を構築することとしている。

#### 2. 認証事業（認証委員会）

経済産業省平成24年度補正「工業標準化推進事業委託費（グローバル認証基盤整備事業：ファインバブルに関する認証システム基盤整備事業）」（平成25年2月22日～3月14日募集）に申請を行い、3月29日付けで採択された。これを受けて、本年度は事業実施の準備を進めた。

3. 基礎情報収集／提供事業

ファインバブルに関する情報収集を行い、併せて、当産業会のパンフレット、ホームページ等を作成し、情報提供・情報発信を行った。

旧 ； 寺坂 宏一 （慶応義塾大学工学部 教授）